



みんなに話したくなる
みんなと始める
事業ごみ減量ニュースレター

ごみゅにけーしょん Gommunication

vol.25

2Rでごみ減量! きちんと実践できていますか?

Reduce

リデュース(発生抑制)

Reuse

リユース(再使用)

ごみの減量のために必要な「2R」を、みなさんの事業所で実践できていますか?

京都市は、ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例※」を施行し、より一層ごみ減量、分別・リサイクルを推進しています。みんなで「へらす」「わかる」を実践し、ごみを減らしましょう!

※「京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」の愛称

ごみ減量の現場取材

ごみ減量につながる事業活動をしよう!!

今回の現場はこちら!

社会福祉法人 **嵐山寮**

<http://www.arashiyamaryo.or.jp/>

嵐山を拠点に、右京区内に全4拠点の高齢者福祉施設を運営。2014年にKESステップ1に登録し、環境に配慮した事業活動を開始。「介護サービスの質を上げれば、環境負荷も減る!」を掲げ、環境への取り組みを積極的に進めています。

※KES：京都発祥の中小企業にもわかりやすく取り組みやすい「環境マネジメントシステム」



ポイント1：無理なくごみ減量につながるしかけを

2Rでのごみ減量を300人以上の職員に周知させるためにはどうすればいいか考え、普段の仕事に結びつけ、誰でも自然にできることから進めていきました。「**環境への取組を全員に浸透させることはとても難しいこと。普段の仕事に組み込むことで、無理なくできている状態を第一に考えました**」と、環境管理責任者の加藤さん。第一歩を踏み出すための大切なポイントです。

ポイント2：わかりやすい目標を

「紙の使用量削減」はみんなができるテーマとして、初年度の目標に入れました。「**職員はそれぞれ具体的に減らす紙を検討し、個人の業務を見直したことが成功の鍵でした**」と加藤さん。日々の心がけと創意工夫により、1年目には**約3万枚削減**できました。また、従前から個別ケアの一つとして取り組んできた施設利用者の「トイレでの排泄」という取組に、「**紙おむつの使用量・廃棄量の削減**」という**新たな付加価値**をつけることで、職員のやる気も高めています。

ポイント3：情報の収集・共有を続けましょう

「施設利用者のためを考えると、結果として環境負荷を減らしています。**環境にやさしい事業活動は、企業のブランド向上にもつながります**」と、施設長の稲澤さん。ごみ減量のための**目標の取組結果のフィードバック**はもちろんのこと、ごみ減量のための情報共有も職員間で日常的に行われています。今後のさらなる取り組みにも期待です!



「ごみゅにけーしょん」も毎月読んで施設内で回覧し、取組の参考にしています!



本業(介護サービス)の中で目指した環境改善の事例です!

事業ごみ収集のご相談は
京都環境事業協同組合まで

「京都市推奨事業系ごみ袋(透明袋)」も販売しています! ★ごみ袋の売上げの一部は市内児童養護施設等に寄付されています!

相談窓口 Tel. **075-691-5517**

受付時間 月~金 13:00~17:00

お問合せは
お気軽に!



ごみ削減に役立つ豆知識

ごみゅにけーしょん Q&A

① レジ袋1枚作るために必要な石油の量はおよそどのくらい?

① バケツ1杯 ② 大さじ1杯 ③ スポイト1滴

思ったより
多いかな?少ないかな?



※答えは裏面にあります。

まずは、知ってもらうことが
行動につながる第一歩だね!



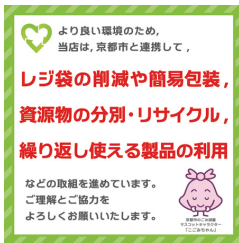
「知ってもらうこと」を大切にしているのは、上京区で学生向けのマンション経営を行う大國正明さん。「初めての一人暮らしで、ごみの始末も初めての学生さんも、自分事として関心をもってもらえればいいなと思っています」。今年新たに入居した学生へのプレゼントはエコバッグとごみの分別のための冊子など。入居時に正しいごみの分別方法の周知を行うことにより、日常生活で出るごみだけでなく、学生生活全般においても意識が高まっています。



TOPICS

「しまつのこころ条例」を推進するための、
ポスター等の店舗用PRツールを提供中!!

ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例」(平成27年10月1日から施行)を推進するために、事業者の皆様へ店舗・大学・共同住宅等で市民(消費者・学生・居住者等)向けの啓発・PR等に取り組んでいただくためのポスター等のツールを提供しています。希望者の方は京都市環境政策局ごみ減量推進課へご連絡ください!なお、ツールの画像データは、「京都市ごみ減量・分別リサイクル総合情報サイト」[「京都こごみネット」](http://kyoto-kogomi.net/)(<http://kyoto-kogomi.net/>)に掲載しています。



京都市店舗用ツール

検索

WEBから
ダウンロードできるよ!



「京都環境事業協同組合 青年部」の方々が鴨川で
ボランティア清掃をしました! (平成28年5月19日)

京都市の一般廃棄物収集運搬業許可業者が加盟する「京都環境事業協同組合」の青年部の方々12名が、『私たちの京都を美しくする活動』というスローガンのもと、鴨川河川敷を清掃しました。「京都の美しさをいつまでも守っていくために、地域への社会貢献活動として今後も市内の清掃活動を続けていきたい」とのことでした。



ごみゅにけーしょんQ&Aの答え: ② 大さじ1杯

レジ袋1枚あたりに使用される石油量は、約18.3ml(2002年日本ポリオレフィンフィルム工業組合データより)。おおよそ大さじ1杯の石油が使われています。ごみを減らすことは、大切な資源を守ることにもつながっています。

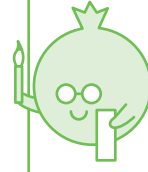
※この印刷物は、不要になりましたら「雑がみ」としてリサイクルできます。

発行: 京都市環境政策局ごみ減量推進課
京都市中京区河原町通二条下る一之船入町384番地 ヤサカ河原町ビル8階
TEL: 075-213-4930 FAX: 075-213-0453

ごみの減量・適正処理は、一人ひとりの意識と、行動が大切です。川柳を通じて毎回ごみ減量をわかりやすく解説します! 今回のテーマは「ごみの分別」です。ごみをしっかりと分別してエコオフィスを実現させましょう!

第一歩

知
ることは
へらすわけ
るの



ごみゅにけーしょん川柳でごみ減量

 ペットボトル 缶・びん	 もやすごみ	主なごみの分別
 産業廃棄物	 リサイクル可能な 全ての紙類	 新聞・雑誌 ダンボール

COLUMN 京の知恵

ごみ減量にまつわる知恵を京都で活躍する人や企業がコラムで紹介!

西山由紀 (おむつなし育児研究所京都サロン)

「おむつなし育児」という言葉を聞いたことはありますか。赤ちゃんが気持ちよく排泄できるように、なるべくおまるなどおむつの外でさせる昔ながらのやり方です。自然の欲求にこたえていると、赤ちゃんはいつも機嫌がよく快適です。便秘や頻尿にもなりにくく、親子のきずなも深まって、母親は子育てが楽しくなります。



今では約9割の親が紙おむつを使用しています。おむつはずれの平均年齢は3歳半と年々遅くなっています。紙おむつごみは、高齢者用も含め可燃ごみの1割をしめる自治体もできて問題となっています。でも、赤ちゃんも生まれたときから、「おなかが空いた」「眠い」がわかるように、排泄もわかっています。それを無視せず、おむつの中で排泄することを当たり前にならないように育てると、平均より1年以上早くおむつがはずれます。0歳からおまるを習慣づけることでごみが減るばかりでなく、使い捨てに対する意識も変わるのではないかと考えています。赤ちゃんにも環境にもやさしいエコな子育てがもっと広がるように願っています。

西山由紀(にしやまゆき): おむつなし育児研究所京都サロン主宰。2008年から京都市を拠点に普及活動を行う。「京都環境賞奨励賞」「京の公共人材大賞最優秀賞」受賞(2015)。著書『やってみよう!おむつなし育児』。 <http://omutsunashi-kyoto.com/>

下記ホームページに一般廃棄物収集運搬業許可業者の連絡先・PR内容を掲載しています。ぜひご覧ください。

京都市 一般廃棄物許可業者

検索

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000001025.html>